

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY  
名古屋  
ちくさ  
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 渡邊 源 市  
幹事 鈴木 聖 三  
広報・会報委員長 小林 英 毅

No. 20

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY

2016～2017年度

RI会長  
ジョンF.ジャーム

### 今日の例会

第1623回 平成28年12月20日(火)  
友愛の日

### 先回の例会

第1622回 平成28年12月13日(火) 雨  
年末会員家族懇親会  
18:00～ 4F「雅の間」

#### ◆奉仕の理想

#### ◆ゲスト紹介

2014 学年度米山奨学生 ドルゴル デルゲルマーさん

2015 学年度米山奨学生 グエン チャン フォ トイさん

#### ◆出席報告

会員 36 ( 34 ) 名 出席 30 名

出席率 88. 24 %

前々回 11/29 (修正出席率) 90. 63 %

☆ビジター数 (昼間) 30 名

### 鈴木幹事報告

1) 次週 20 日が上半期最終例会になります。  
例会終了後理事役員会を開催致します。ご予定下さい

### 渡邊会長挨拶



会員家族の皆様、本日は年末会員  
家族懇親会に大勢ご参加いただき、  
ありがとうございます。

親睦委員会が皆さんのために用意  
したプログラムと料理を十分ご堪能  
ください。

会員の皆さんは普段のクラブ奉仕  
と合わせて、家族奉仕を実践していただ  
くようお願いし、挨拶いたします。

会場運営 太田 和孝 委員長より



### 懇親会

林 永芳 親睦副委員長へ



### ◆池森親睦委員長 歓迎挨拶



本日は 年末のお忙しいと  
ころ大勢の皆様にお集まり  
頂きありがとうございます。  
ごゆっくりお過ごし下さい。

本日のゲスト 米山奨学生  
ドルゴル デルゲルマーさん グエン  
チャンさん紹介を  
ご紹介させていただきます



ドルゴル デルゲルマー (デギ) さん

結婚して今年2月に男の子が誕生しました！  
おめでとうございます

◆乾杯



竹内眞三君より  
乾杯のご発声



ご健勝で1年を過ごされたということをお祝いしまして  
また来年は変わりなく元気で過ごされますことを念じまして 乾杯!!

アンジェロ・アクィリーニ氏 バンドネオン演奏 ♪



バンドネオン アンジェロ・アクィリーニ  
ヴァイオリン 今泉 香予子

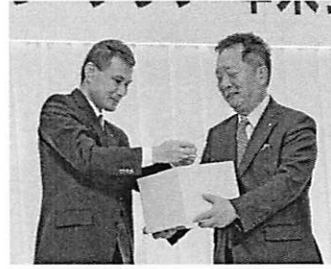
カフェラテアートショー



♪サンタクロース登場 ♪ ♪



◆おたのしみ抽選会



幹事賞  
加藤重雄君ファミリーに



会長賞  
旅行券は河合隆史君ファミリーに当たりました



おめでとうございます!



今回も景品のご寄付を下さいました皆様  
ありがとうございました



米山奨学生 チャンさんも一緒に



池森親睦委員長 お疲れ様でした  
米山奨学生のデギーさんもご参加下さいました



◆歳末助け合い募金



碓氷委員長より  
歳末募金の金額発表

合計 167,000 円  
になりました

皆さま ご協力ありがとうございました

◆牧野副会長 閉会挨拶



皆さま今日は雨の中を ご家族  
大勢でお越し頂きありがとうございました。  
お楽しみ頂けましたでしょうか？

昔の話になりますが、私が初めて  
ロータリークラブのクリスマス  
会に出席致しましたのが亡き夫  
が元気な頃 豊川 RC のクリスマ

ス会でした。その時に最後に「手に手つないで」の歌を  
初めての方と 手に手を繋いで歌ったのがとても思い出  
深いです。今回も最後に「手に手つないで」を歌って 皆  
様のこれから来る年の幸せを互いに祈って頂けたら嬉  
しく思っております。本日はありがとうございました。

♪ 手に手つないで ♪



楽しい家族懇親会も無事終了いたしました



Merry Christmas and happy new year

ニコボックス

池森 由幸  
親睦委員会の皆様 早くから準備の為に集まり下  
さいましてありがとうございました  
今夜は皆様どうぞゆっくりお楽しみ下さい

加藤 重雄  
本年も大勢の孫たちが来ています。  
来年は1人増えます。

小山 雅弘  
デギーさん チャンさん メリークリスマス！

宮尾 絢司  
Merry Xmas！ 親睦の皆さん有難う

鈴木 聖三  
本日待ちに待ったクリスマス忘年会です  
お子様 お孫様 共に楽しい1日にしましょう

渡邊 源市  
本日、碓氷社会奉仕委員長 鈴木幹事と3人で千種消  
防署、千種警察署で年末のあいさつに行ってきました。  
今夜は家族と共に楽しい時間をお過ごし下さい

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 足立 一郎 | 福井 浩道 | 長谷川 亨 |
| 林 永芳  | 堀江 宏輝 | 伊藤 健文 |
| 梶尾 富二 | 河合 隆史 | 松浦 宏紀 |
| 鍋野 可幸 | 大口 弘和 | 太田 和孝 |
| 大谷 恩  | 佐野 寛  | 笹野 義春 |
| 鈴木 理之 | 谷口 優  | 舎人 経昭 |
| 碓氷 美佳 | 吉田 玄  |       |

本日は年末会員家族会です  
楽しい夜を過ごしましょう

26件

合計 171,000 円



1月 例会内容のお知らせ

1月 3日 (火) 休会

1月 10日 (火) 例会変更 ⇒ 18:00 松楓閣  
◎新年夜間例会

1月 17日 (火) 12:30 4階 雅の間  
◎卓話 「永青文庫所蔵名品について」  
名古屋市美術館 学芸員 保崎裕徳 様

1月 24日 (火) 例会変更 ⇒ 17:30 城山八幡宮  
◎節分例会

1月 31日 (火) 12:30 3階 錦の間  
◎友愛の日  
\*例会終了後 第7回 理事役員会

## キャンヘルプタイランド活動報告

C.A.N.H.E.L.P.Thailand ネットワーク通信 Vol.75 より

### 2016年夏の交流ツアー報告

2016年8月22日(月)から29日(月)までチェンマイ県にある山岳部少数民族出身の子どもたちの為の学生寮「カサロンの家」で交流キャンプが行われました。日本からの参加者は5名でしたので、和気あいあいとした雰囲気でのんびりとしたツアーをお楽しみいただけたいと思います。

「カサロンの家」滞在初日には、寮の子どもたちのために『トンカツ』を作ってあげようということになり、車で20分ほどの大型スーパーまで出向き、豚肉の塊を8kg、パン粉、油などを大量に購入し、夕食の時間に間に合うように午後3時ころから調理を開始しました。カサロンの家と希望の家の子どもたち、スタッフ、日本人を合わせると約60名、食べ盛りの子どもたちの「おかわり」も考え、100枚のトンカツを2時間かけて揚げました。食糧庫にジャガイモがあったので、フライドポテトを付け合わせにと思ったのですが、こちらは芋の種類が悪かったのか、べちゃべちゃとしたフライドポテトになってしまい、ちょっと不評でした。

2日目は、「すみれ基金大学生奨学金」の学生に会うためにチェンマイから200kmほど北にあるチェンライへ移動しました。奨学生らが通っているチェンライのメーファールアン大学のゲスト用ホテルにチェックインした後、チェンライ郊外のカレン族の村を訪問し、夕方にはチェンライの街に戻り、山の上にある景色が素晴らしいベトナム料理店で「すみれ奨学生」2名も合流して食事会を行いました。奨学生にはちょっとしたスピーチをしてもらい、特に看護科3年の「ナッチャン」のスピーチはとても感動的でした。彼女は9月に無事に戴帽式を終えたようです。

3日目は、夕方前までにチェンライからチェンマイのカサロンの家へ戻って、カサロンの家の子ども達とゲームをしたり一緒に夕食を作ったりして楽しく過ごしました。

4日目は、午前中にカサロンの家の子どもたちが通っている学校を訪問し、日本の紹介をしたり、児童と一緒に盆踊りを踊ったりして1時間ほど交流しました。ノリのいい先生方が、用意してあった日本の浴衣を着て一緒に踊ってくれたのがとても印象的でした。

最終日の5日目は土曜日ということもあり子どもたちも学校がお休みだったので、朝から夕方まで交流しました。シャボン玉をしたり工作をしたり折り紙で遊んだり、子どもたちは言葉が通じなくても身振り手振りで大丈夫です。



今回、ツアー参加者の中に中学年の男の子がいましたが、初めのころの緊張は5日目にはすっかりなくなりタイの子どもたちと仲良くなってい

ました。「若いって素晴らしい」とつくづく思っていました。この日の夜の飛行機でバンコクへ戻り、バンコクで2泊した後、無事に日本へ帰国しました。

キャンヘルプタイランドは例年、ワークキャンプと称して、建設作業を伴うキャンプを行ってきました。しかし、近年タイの学校の環境はかなり改善され教室不足等の問題は解決されています。そこで、今回は建設作業のない交流ツアーを行ってみました。中学生のお孫さんと一緒に参加された方や、ご夫婦で参加された方もおみえになり、建設作業は体力的に厳しいけどタイへのツアーに興味がある方への良いアプローチができたと思います。また、寄付金の少なくなっている山岳部少数民族プログラムの一環として、「カサロンの家」へツアー参加費収入の中から多少の寄付が行えたことも。この交流ツアーを行ってよかった事のひとつです。また、来年も山岳民族交流ツアーを開催できたらと思っています。

### カンボジア小学校支援プロジェクト始動!

2016年3月にカンボジアの小学校を視察し、教育環境の現状を調査したところ、この国のほとんどの学校が抱える問題として教室不足の深刻さがありました。ただ、いくら学校を新設しても、子どもたちを教える先生の供給も追いついていません。現在、カンボジアの多くの小学校は2部制をとり、午前と午後生徒を分けることで少ない教室、少ない先生を効率良く活用しています。しかし、2部制のままでは学習時間が足りず教育レベルの底上げが困難な状態になると予想され、近い将来1部制に制度変更されれば、すぐに教室不足の問題が表面化します。ちょうど、20年前にタイの小学校が中学校を併設にするとということになり、教室不足に陥ったのと同様に、小さな子どもたちは壁のなり青空教室で砂埃にまみれながら勉強をしなくてはならない状態になるでしょう。

キャンヘルプタイランドでは、そんなカンボジアの子どもたちの将来を見据え、少しずつですがカンボジア支援の方向性と方法を模索しています。今回のカンボジア小学校視察で、「まず手始めに何をしたらいいのか?」「今のキャンヘルプタイランドになにができるのか?」を考え、最初は「トイレ・手洗い場の支援」から試行してみるという結論に達しました。カンボジアの田舎の平均的な小学校は、生徒数300名程度・先生10名程度に対して5教室の平屋の校舎が1つとトイレ2部屋があるだけの状態です。そこで、私たちは比較的小さい金額で支援可能なトイレと手洗い場を造ってみる事にしました。これにより子どもたちの衛生環境は改善され、合わせて手洗いの指導などをすることにより、病気や感染症の予防改善にも役立つと考えます。この小さな支援をファーストステップとして、将来的には、タイ支援で培ったノウハウを基に、校舎の建設や奨学金の支給などもう少し大きな支援へと移行していけたら素晴らしいと思います。

